



地域おこし協力隊 成果報告会を開催

2月20日、ウッドルーム（大通地区コミュニティ施設）において、地域おこし協力隊の活動を町民に紹介するとともに、地域との交流を深めることを目的に「地域おこし協力隊活動成果報告会」を開催しました。

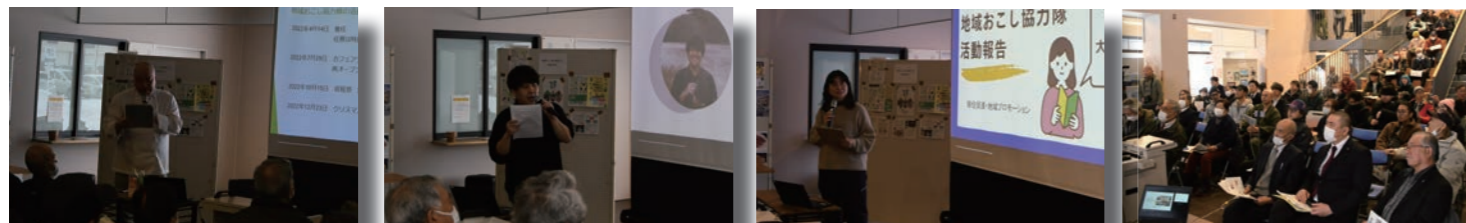
現在活動中の6名、増田啓一郎さん（食品加工開発）、安部勇人さん（農業支援）、大竹駿二さん（情報発信）、鈴木健史さん（農業支援）、大口桂子さん（移住促進）、安達あゆさん（情報魅力発信）が、これまでの取り組みや卒業後の進路について報告しました。

活動3年目で今年卒業する増田さんは、町内で今春、自身の店をオープン予定。同じく3年目の安部さんは、町内唯一の稲作農家を第三者継承の形で引き継ぐ準備をしていく予定です。また、今秋に卒業を迎える大竹さんは「津別町を拠点に、写真業をメインに活動したい」と抱負を語りました。

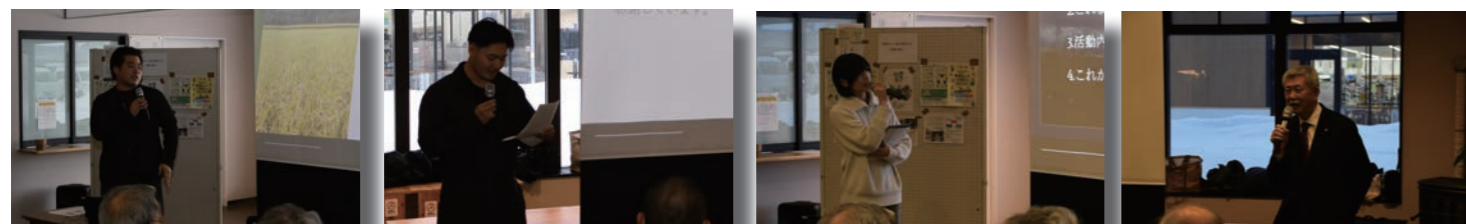
佐藤町長は「それぞれの分野で力を発揮していただいている。今後も地域おこし協力隊の活動をしながら、一緒にまちづくりを進めていただきたい」と激励しました。

会場には町内外から70名を超える方が参加し、隊員が手掛けた食材を使った試食会も行われ、報告会は大盛況となりました。

●成果報告会の様子



▲増田 啓一郎さん（食品加工開発） ▲大竹駿二さん（情報発信） ▲大口桂子さん（移住促進） ▲多くの人でにぎわう会場



▲安部勇人さん（農業支援） ▲鈴木健史さん（農業支援） ▲安達あゆさん（情報魅力発信） ▲挨拶をする佐藤町長

●試食会の様子



▲ソーセージを振舞う増田隊員 ▲自ら育てたお米を振舞う安部隊員 ▲鈴木隊員の従事する希来里ファームのじゃがいもを使用したポテトチップス

祝 卒業

3月1日から19日にかけて、町内の認定こども園、小学校、中学校、高校で卒業式が行われました。卒園・卒業を迎えた子どもたちは、保護者や先生方に見守られながら、新たな一歩を踏み出しました。

認定こども園では、小さな園児たちが立派に成長した姿を見せ、先生や友達との別れを惜しみながら元気いっぱいに巣立ちました。小学校では、6年間の思い出を胸に、中学校進学への期待と不安を抱きながら、在校生や保護者に見送られました。中学校の卒業生は、それぞれの進路に向けて決意を新たに、高校生になる喜びと責任を感じながら旅立ちました。高校の卒業式では、卒業生が3年間の学びを振り返り、友人や先生との別れを惜しみながら、社会へと羽ばたく第一歩を踏み出しました。

3月17日
認定こども園

3月19日
津別小学校



3月14日
津別中学校

3月1日
津別高校

